

新たな成長に向け『経営方針〈09-10〉』を策定

世の中全体が大きく変わろうとする転換点をポジションを高めるチャンスと捉え、『経営方針〈09-10〉』を新たに策定しました。

環境の激変を乗り越え強い成長を実現

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界同時不況は、
もはや一時的な景気減速ではなく、世の中全体が大きく変わろうとしている転換点だと言えます。
当社は、世の中が変わる時こそ進化のチャンスと捉え、危機が通り過ぎるのを待つのではなく、
事業環境が悪い時でも利益を出せる構造をつくり、景気回復時にはより大きな成長を果たせるように、
今からあらゆる策を講じなければならぬと考えています。
このような認識のもと、2009年度から2010年度の2年間に取り組むべき新たな成長戦略として
『経営方針〈09-10〉』を定めました。

経営方針〈09-10〉の基本方針

1. 企業体質改革の実行

引き続き厳しさが予想される2009年度では、売上高の伸びに過度に期待せず、確実に利益とフリー・キャッシュ・フローを生み出せる企業体質への変革を早期に目指します。重点施策として、①構造改革の実行および経費管理の徹底を中心とする固定費削減、②在庫圧縮や債権債務サイト改善の推進などによるバランスシートのスリム化とフリー・キャッシュ・フローの創出、③既存事業の取捨選択の徹底による採算の改善、を図ります。さらに、④環境経営の強化にも取り組み「環境立社」を目指します。

2. 強い成長の実現

景気回復の局面において素早く成長軌道に乗るために、既存事業を強化し、新規事業を育成します。既存事業においては、オフィス向けカラーMFPやプロダクションプリント分野、ディスプレイ部材やレンズ関連分野など、成長が見込まれる事業領域・市場に経営資源を集中して「ジャンルトップ戦略」を一層強化します。特にプロダクションプリント分野

中期経営計画『FORWARD 08』の総括

(2006年度～2008年度)

基本方針

- 新たな事業付加価値を増大し、
グループ成長と企業価値の最大化を目指す
1. グループ総力を挙げての成長を図る
 2. 新たな企業イメージを構築する
 3. グローバルに通用するCSR経営を推進する

事業面の主な成果

- 成長分野に集中し、「ジャンルトップ戦略」を確実に遂行しました。
- 「ジャンルトップ戦略」を加速するため、M&Aおよび戦略的業務提携を行いました。
- 「選択と集中」を徹底し、BtoBの成長事業へ経営資源を傾注しました。

やレンズ関連分野では、当社の強みを活かして新しい領域へ積極的に業容を拡大します。また、材料・光学・微細加工・画像というコア技術を高度化・複合化し「環境・エネルギー」、「健康・安全安心」の分野で、将来を見据えながら収益の柱となる新規事業を育成します。

3. 風土改革

事業環境の激変を乗り越え、グローバル競争に勝ち残っていける企業風土を構築します。“大胆な発想と勇気ある挑戦”を意味する「simply BOLD」を合言葉に、全世界のグループ各社で風土・意識改革を展開していきます。自律性とチャレンジ精神を備えたグローバルな人材を育成し、それを広く活用できるように人事制度や組織マネジメントを革新させ、自ら“パラダイムシフト”を巻き起こす企業風土を創っていきます。

基本方針

1 企業体質改革の実行

- サバイバル・選択・集中とスリム化の早期断行
- イノベーション・革新的な思考と行動

2 強い成長の実現

- 既存事業の強化／業容拡大
- 新規事業の育成

3 風土改革 “simply BOLD”

- 大胆な発想と勇気ある挑戦

